

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する現地調査
2. 日時：令和4年4月8日（金）8時30分～14時30分
3. 場所：日本原子力発電株式会社敦賀発電所
4. 出席者

原子力規制庁

長官官房 国際室

安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、星主任研究調査官、佐藤（雄）管理官補佐

原子力安全人材育成センター 原子炉技術研修課

上ノ内教官

日本原子力発電株式会社

発電管理室 担当者3名

敦賀発電所 坂佐井所長 他8名

#### 5. 要旨

○東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析の一環として、日本原子力発電株式会社（以下「日本原電」という。）敦賀発電所1号機の原子炉格納容器内及びシールドプラグについて、以下の観点の調査を実施した。

- 福島第一原子力発電所3号機の水素爆発時に生じた黒煙の原因と考えられる可燃性ガスの発生源の検討に係る敦賀発電所1号機の格納容器内のケーブル、塗料等の敷設状況の調査。
- 福島第一原子力発電所2号機のシールドプラグの変形要因の推定に係る敦賀発電所1号機のシールドプラグの形状測定。
- 福島第一原子力発電所1号機における非常用復水器（IC）の検討に係る敦賀発電所1号機のICの状況等の調査。

○原子力規制庁から、本日の調査に係る検討状況等を説明するとともに、可燃性ガスの発生源に関する調査等、東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析に係る検討への協力を日本原電に依頼し、日本原電から了解した旨の返答があった。

#### 6. 資料

なし

以上